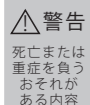
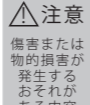


製品の取り扱いについて（必ずお読みください）



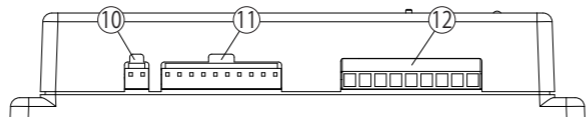
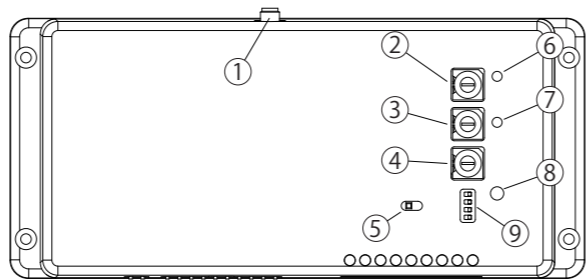
- 本取扱説明書に記載のない条件や環境での使用、及び原子力制御・鉄道・航空設備・車両・燃料装置・医療機器・娯楽機械・安全装置その他、人命や財産に大きな影響が予測されるなど特に安全性が要求される用途へは使用しないでください。
- 周囲環境により、通信が一時的に途絶えることが有りますので、リアルタイム制御及び人命やその他の機器・装置に損害を与える用途には使用しないでください。
- 落下させる・物をつつける・傷つけるなどはしないでください。故障の原因となります。
- 分解、改造はしないでください。故障の原因となります。
- 製品を濡らさないでください。発熱や故障の原因となります。
- 煙が出る・異臭がする・異音がする・発熱するなどの異常が発生した場合すぐに使用をやめ、購入先にご連絡ください。
- 配線はブレーカーを切った状態で行ってください。事故の原因となります。
- 配線は正しく行ってください。誤動作や事故の原因となります。



- 次の場所への設置はおやめください。故障や事故の原因となるおそれがあります。
 - ・ほこりの多いところや直接水のかかるところ
 - ・高温多湿のため結露しやすいところ
 - ・腐食性ガスや可燃性ガスが発生するところ
- アンテナは専用のアンテナをご利用ください。
- アンテナは金属物等（鉄筋・電柱等）からできる限り離してください。障害物がある場合動作距離が短くなることがあります。
- 受信機を制御盤などの金属箱内に設置する場合は延長ケーブルを使用し、アンテナを金属箱の外に設置してください。
- 電源電圧は許容範囲内で使用してください。
- 本機を廃棄する時は、産業廃棄物として処理してください。

受信機各部名称

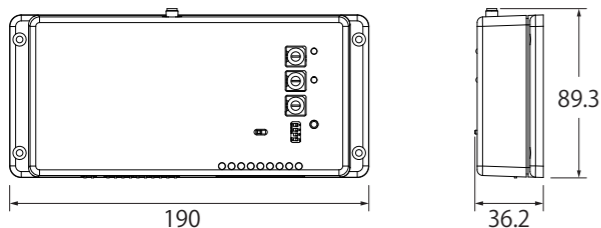
- ① アンテナコネクタ**
 - ・アンテナ取付用のコネクタです
- ② 設定スイッチ**
 - ・IDコードの登録、及び削除をするときに使用します
 - ・詳細は「IDコードの登録」「IDコードの削除」「動作範囲を設定したい時は」をご覧ください
- ③ 上昇時間設定**
 - ・センサーによる上昇時間の設定をします
 - ・詳細は「シャッター動作の設定」をご覧ください
- ④ 待機時間設定**
 - ・自動で下降し始める時間の設定をします
 - ・詳細は「シャッター動作の設定」をご覧ください
- ⑤ 電源スイッチ**
 - ・「ON」にすると、電源が入ります
- ⑥ 動作 LED**
 - ・シャッターの動作状態を表示します
- ⑦ 検知 LED**
 - ・何らかの電波を検知したときに点灯します
- ⑧ エラー LED**
 - ・座板センサや光電センサなどが働いたときに点灯します
- ⑨ 設定スイッチ**
 - ・受信機の動作モードを切り替えるときに使用します
 - ・詳細は「IDコードの登録」「IDコードの削除」「モードの設定」「動作範囲の設定」をご覧ください



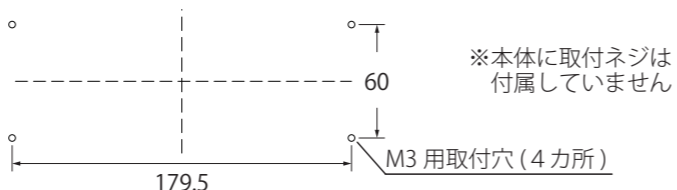
- ⑩ ハーネス差込口（2ピン）**
 - ・電源線を結線します
 - ・詳細は「結線図」をご覧ください
- ⑪ ハーネス差込口（10ピン）**
 - ・出力線及び押釦スイッチを結線します
 - ・詳細は「結線図」をご覧ください
- ⑫ 端子台**
 - ・センサ等を結線します
 - ・詳細は「結線図」をご覧ください

外形寸法・取付寸法

外形寸法



取付寸法



結線図

- ハーネス（2ピン）**
- 黒 電源 AC100～200V
 - 白

※電源線に結線をすると、常に通電している状態になります。作業をされる方は、十分に注意してください。

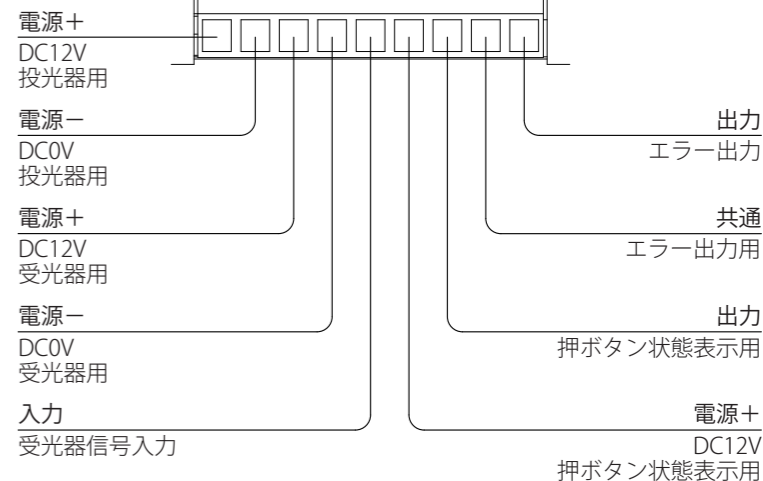
- ハーネス（10ピン）**
- 緑 共通 OPEN / CLOSE 用
 - 灰 OPEN
 - 紫 CLOSE

- 青 共通 STOP 用
- 黄 STOP_A N.O.
- 赤 STOP_B N.C.

- 茶 共通 有線押ボタン用
- 白 OPEN 有線押ボタン用
- 黒 CLOSE 有線押ボタン用
- 橙 STOP 有線押ボタン用

※ハーネス（2ピン）と同じ色がありますので、十分に注意して結線作業を行ってください。

端子台



本製品に搭載されている端子台の適合電線は AWG26～AWG16 のより線 です。指定以外の電線を使用しないでください。故障の原因となります。

IDコードの登録

※送信機のIDコードを受信機に登録すると受信機は登録した送信機で操作が可能になります。手順に従い送信機のIDコードを登録したうえで使用してください。

※登録操作時は、登録作業以外の操作や他の送信機の操作ボタンを押さないでください。

※登録操作時は、必ず受信機にアンテナを取付けた状態で3m以内で送信機を操作してください。

※本操作で登録できない送信機もあります。機種については購入先にお問い合わせください。

※本操作は必ず登録しようとする受信機・送信機で行ってください。登録済の送信機を再度登録することができます。その際はIDグループが現在あわせられているグループに変更されます。（IDの多重登録にはなりません）

- 電源が切れているか確認してください。電源が入っている場合は、電源を切ってください。
- モードスイッチを図のように移動させてください。
- 設定スイッチで登録したいIDグループ(0～F)を▶にあわせてください。右図では、グループFに登録されます。
- 電源を入れてください。
- 受信機が登録モードに入ります。登録モードの間、動作LEDが速く点滅し受信機のブザーが「ピーッピーッ」と約1秒間隔で鳴ります。以降の作業は90秒以内に行ってください。

モードの設定

周波数の選択

- 次の4種類から選択できます。
- 固定周波数 1
 - 固定周波数 2
 - 固定周波数 3
 - キャリアセンス (15波)

キャリアセンスを選択した場合

任意の周波数の中から通信可能な周波数を自動選択します。電波環境により、周波数を選択するまで数秒かかることがあります。

モードの設定方法

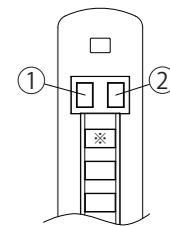
- 電源を切ってください。
- 次の表を参考にし、モードスイッチを任意の設定にしてください。

固定周波数 1	★固定周波数 2	★固定周波数 3	キャリアセンス

- 送信機で次の操作をしてください。送信機の1番ボタンを押しながら電源を入れて（またはマークを押して）ください。電源ボタンが押しボタンタイプの送信機は、先に電源ボタンから手を離してください。

送信機がTX13の場合

- 送信機の「※」ボタンを押しながら電源を入れてください。
- 送信機の①と②のボタンを使いユーザー様で決めたチャンネル番号と液晶の数字を合わせてください。
- 再度「※」ボタンを押してください。



※上記方法で登録できない製品もあります。送信機取扱説明書に「登録電波の送信方法」があれば、そちらをご覧ください。

- 登録が完了すると受信機のブザーが「ピー」と約2秒間鳴り、動作LEDがゆっくり3回点滅した後消灯します。続けて作業される場合は、最初から繰り返してください。IDコードの登録数が可能台数を越えた場合は、動作LEDが消灯しブザーが「ピッピッ」と短く2回鳴ります。

受信機が登録モードの状態のままになっているとブザーが「ピー」と連続して鳴り続け、検知LEDと動作LEDが交互に点滅します。いちど受信機の電源を切り、モードスイッチを任意の設定にしてから電源を入れなおしてください。

- 登録作業終了後、設定スイッチを「F」に合わせ、モードスイッチを元の位置に戻してから電源を入れなおしてください。

※送信機の周波数設定とあわせてください。お使いの送信機の周波数設定がわからない場合は、購入先にお問い合わせください。★の設定を使用したいときは購入先にお問い合わせください。

- 電源を入れてください。付属の設定表示シールに記入後受信機本体の見やすい場所に貼っておいてください。



<設定表示シール>

シャッター動作の設定

上昇時間の設定

シャッター下降中にタッチセンサや光電センサなどが反応すると、一時停止しシャッターを上昇させます。そのときに上昇させる時間を設定します。

設定したい時間に **▶** を合わせてください。各位置の時間は下の表で確認してください。

0	0秒※	4	4秒	8	8秒	C	20秒
1	1秒	5	5秒	9	9秒	D	30秒
2	2秒	6	6秒	A	10秒	E	1分
3	3秒	7	7秒	B	15秒	F	1分30秒

※0秒を選んだときは、上昇せずにその場で停止します。

待機時間の設定

シャッターが設定された上限まで開いたときに、一定の時間が経過すると自動でシャッターを下降させます。そのときに上限で待機させる時間を設定します。

設定したい時間に **▶** を合わせてください。各位置の時間は下の表で確認してください。

0	無効※	4	30秒	8	1分30秒	C	5分
1	5秒	5	40秒	9	2分	D	10分
2	10秒	6	50秒	A	3分	E	15分
3	20秒	7	1分	B	4分	F	20分

※無効を選んだときは、下降せずに上限で停止します。

動作LEDの表示について

シャッターの動作を表します。

停止	緑色/点滅
動作中	橙色/点灯
上限リミット	赤色/点灯
下限リミット	緑色/点灯



※電源の極性により、電源投入時に正しく表示されない場合があります。一度シャッターを動かすことにより、正しい表示に戻ります。

動作範囲を設定したい時は

操作可能な最大範囲を設定することで、「近い距離からのみの操作」や「見える範囲での操作」に限定することができます。



※本設定は、必ず登録済の送信機で行ってください。

- 電源が切れているか確認してください。

※電源が入っている場合は、電源を切ってください。
- モードスイッチを右図のように移動させてください。
- 電源を入れてください。
- 設定スイッチの「F」を **▶** にあわせてください。
- 操作したい場所から送信機の操作ボタンを押し、電波を送信してください。受信機が電波を受信すると検知LEDが点灯しブザーが「ピー」と連続的に鳴ります。


IDコードの削除

※受信機に登録済みのIDコードは登録時に設定したグループ毎の削除になります。送信機ごとの個別削除はできません。

- 電源を切ってください。
- モードスイッチを右図のように移動させてください。
- 設定スイッチで削除したいIDグループ(0~F)を **▶** にあわせてください。

※右図では、グループ0が削除されます。
- 電源を入れてください。
- 受信機が削除モードに入り、約1秒後に動作LEDが点灯します。
- 4秒以内に、モードスイッチを右図のよう▶にすべて右側に移動させてください。

※4秒以上経過すると、ブザーが「ピッピッ」と短く2回鳴り削除モードが終了します。①の手順に戻り、再度作業を進めてください。



押ボタンの無効化

有線押ボタンでの操作を無効にします。

有線押ボタンの「停止」ボタンを押しながら「開」（もしくは「上昇」）ボタンを3秒以上押してください。

※設定後、押ボタンが無効になっているかを確認してください
※押ボタン表示用に表示灯などを取り付けると、現在の状態がわかりやすくなります

押ボタンの有効化

有線押ボタンでの操作を有効にします。

有線押ボタンの「停止」ボタンを押しながら「閉」（もしくは「下降」）ボタンを3秒以上押してください。

※設定後、押ボタンが有効になっているかを確認してください
※押ボタン表示用に表示灯などを取り付けると、現在の状態がわかりやすくなります

延長ケーブル（別売）の取付について

- アンテナは操作される位置から見通しがよく、地面より1.5m以上の高さに取り付けてください。
- 壁を貫通させてアンテナケーブルを屋外に引き出す場合、ケーブル保護のためパイプを使用してください。
- アンテナは、組み込みネジでアンテナ金具にしっかりと固定してください。
- 受信機からのアンテナケーブルは無理に引っ張らないようにしてください。
- アンテナケーブルは途中で切断したり余分なケーブルを束ねたりしないでください。
- アンテナケーブルは電源線・高圧線・インバーター・DCモーターなどのノイズ源からできる限り離してください。
- アンテナ及びアンテナケーブルは弊社指定品を使用してください。

主な仕様

- 出力仕様　　無電圧リレー接点出力
- 定格負荷　　DC30V 5A（抵抗負荷）
AC250V 3A（抵抗負荷）
- 電源電圧　　AC100～200V
- 消費電流　　2VA以下
- 動作温度範囲 -10～+60℃
- 動作湿度範囲 30～80%(結露・氷結なきこと)
- 登録可能台数 100台
※100台を超えると登録できなくなります

故障かな？と思ったら

動作しにくくなった・動作しなくなったと感じたら、下記内容を確認してください。

- 送受信機の電源は入っていますか？
- 正しく配線されていますか？
- 近距離で正常に動作しますか？
- アンテナの設置場所に問題がありませんか？
- アンテナとケーブルの締め付けが緩くなっていませんか？
- アンテナケーブルが断線またはかみ込んでいませんか？
- 周囲にモーターなどのノイズ源がありませんか？
- 別の送信機で正常に動作しますか？

